

第四十五回帝國議會 議院

破產法案外一件 (破產法案) 委員會會議錄(速記) 第二回

會議

大正十一年三月九日午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 前田 米藏君
- 理事 齋 純義君
- 久木田 叶君
- 木村作次郎君
- 福井 甚三君
- 横山金太郎君
- 野村 嘉六君
- 同月七日委員齋谷秀次君辭任ニ付其ノ補闕トシテ久木田叶君ヲ議長ニ於テ選定セリ
- 出席政府委員左ノ如シ

- 司法次官 山内確三郎君
- 司法省民事局長 池田寅二郎君
- 司法省參事官 三宅正太郎君
- 司法省參事官 岩村 通世君

破產法案

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○前田委員長 只今カラ開會致シマス

○渡邊委員 現行法ト此法案トノ相違ノ重要ナル點トナツテ居ル分デスガ、破產財團、及破產債權者ト云フモノガ、破產宣告ノ時ト云フコトニ限定サレテ居ルヤウデアリマスガ、現行法ニ依レバ、破產ノ宣告ガアレバ、其破產ノ終結マデハ破產者ハ法律行爲ヲ爲スコトガ出來ナイ、爲シテモ効力ハ生ジナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、本案デハ破產後ニ於テ取得シタル權限財產ニ付テハ、効力ヲ生ズルト云フコトニ相成ツテ居ルヤウデアリマスガ、サウ致シマスト破產宣告ト云フモノガアツテ、其後ニ於テ破產者ガ、或ハ消費貸借ノ方法ニ依ッテ金錢ヲ借入レ、或ハ第三者カラ財產ノ贈與ヲ受ケル、其他ノ原因ニ依テ財產ヲ取得スルト云フ場合ニ於テ、此破產債權者ト破產宣告後ニ於ケル債權者トノ間ニ於テノ權利關係ハ、ドウ云フコトニナリマスカ

○山内政府委員 破產債權者ハ、現行法モ多クノ學者ノ解釋ト致シマシテハ、破產宣告當時ニ於テ債權者タル者、斯ウ云フコトニ解釋致シテ居ル、此點ニ付テハ現行法ト此案トハ相違ナイ積リデアリマスガ、破產宣告當時ノ破產者ノ財產ニミテ破產財團トスル、而シテ破產宣告後ニ取得シタル財產ニ關シテハ勿論、此破產手續ニ於テ、其財產カラ破產債權者ガ分配ヲ受ケルト云フコトハ無イ、ソレデ破產債權者ハ破產財團ニ付テノ其權利ヲ行フコトヲ得ルト云フ、斯ウ云フ事ニナツテ居ル、併ナガラ破產宣告後ノ債權者ハ、破

產財團ニハ掛レル、破產宣告後ノ破產者ノ財團ノミニ掛レル斯ウ云フヤウニ兩方區別シテ居ルノデアリマス、ソコデ破產宣告前ノ債權者、即チ破產債權者ハ、破產宣告後ノ破產債權者ニ非ザル債權者トシ、ドウ云フ關係ガアルカニ付テハ、本案ニ一ツノ法文ヲ置イテアルノデアリマス、斯ウ云フコトカラ申上ゲタラ宜カラウト思ヒマスガ、破產宣告後ノ財產關係ニ於テ、又破產状態ニ陥ル場合ヲ想像スル、サウシマスト云フト、其破產債權者カラ後ノ財團ニ關シテ即チ、二重ノ破產宣告ヲスルコトガ出來ル、サウスルト此法文ニ依リマス、破產宣告前ノ債權者、即チ破產債權者ハ前ノ破產財團カラ辨濟ヲ受ケテ、ソレデ足ラナイ額ニ付テノミ後ノ財團ニ掛ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ前ノ破產財團カラ辨濟ヲ受ケテ、サウスルト少シ残りガ出來マスカラ、其残りガケガ丁度後ノ破產財團ニ掛レル、即チ別除權ニ似タヤウナ事柄デ、準別除權トシテ、別除權ノ所ニ一ツノ規定ガ掲ゲテ居ルノデアリマス、即チソレハ第九十七條第一項末段デ其事ヲ明ニシテ居ルノデアリマス

○渡邊委員 只今ノ御答辯デ分リマシタガ、サウ致シマスト破產債權者ハ、破產財團ヨリシテ辨濟ヲ受ケ得ラレナカ、タ破產債權ニ付テノミ、第二ノ宣告ニ依ル破產財團カラ辨濟ヲ受ケルト斯ウ致シマス、此破產債權ト云フモノハ、後ノ破產債權者ノ財團ニモ平等ニ分配ヲ受ケル權利ガアルト云フコトニナリハシマセマス

○山内政府委員 ソレハ結局サウ云フコトニナルノデアリマス、矢張り之ハ後ノ財團ニ付テ宣告前ニ生ジタル債權者デアリマスカラ、矢張り一般ニ後ノ財團ニ付テハ後ノ債權者同様ニ出來ルノデアリマス、唯タ前ノ破產財團ニ付テノ優先ノ權利ヲ持テ居ルト云フヤウナ形ニナツテ居リマス、ソレダケ先ツ辨濟ヲ受ケテ置カネバ行カヌノデアリマス

○渡邊委員 諒解致シマシタ、ソレカラ尙ホ此實例ノ場合デアリマスガ、破產債權ノ取扱中ニ於テ、破產財團ノ一部デアツテ、其財產ヲ取立テル上ニ於テ、非常ニ多クノ費用ヲ要スル、所謂其債權取立ニ對スル費用ト、取立テル所ノ債權トノ收支價ハスト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、或ハ其場合ニ於テハ債權ノ拋棄トカ、或ハ拋棄ヲセズシテ其債權ノ競賣手續ノ處分ヲ爲スト云フヤウナ場合ガアラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ、矢張り破產主任官ノ許可ヲ受ケテ處置スルト云フコトデアリマスガ、或ハ管財人ニ於テ相當ニ考慮ヲ致シテ、是ガ最モ最善ノ方法デアルト

云フ管財人一個ノ考ヲ以テ、此場合ニ於テ處理ラスルト云フコトガ出來マスガ、實際ノ取扱上下云フコトニナリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○山内政府委員 ソレモ特ニ明文ヲ掲ゲタ次デアリマス、此權利ノ拋棄、或ハ債權ノ讓渡ニ付テハ、原則トシテハ管財人一個デ出來ルコトニナツテ居リマス、併シナガラ此第九十七條デ、千圓以上ノ價額ヲ有スル、ソレヲ標準トシマシテ、是ハ稍、其破產財團ニ取テ重要ナ財產ト看做シ、管財人ノ同意ヲ得テスルト斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○渡邊委員 諒解致シマシタ

○福井委員 私ハ此法律ニ關シテハ、マルキリ門外漢デアリマシテ、皆無法律關係ハ分リ兼ねマスガ、一寸考ヘマスルニ、債權者ニ餘リ便利デ、債權者ノ保護ニ過ギハンナイカト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、本案ノ組立ハ債權者ノ權利義務ヲ主トシテ極メテ明瞭ニ出來テ居リマシテ、如何ニモ進歩的ニ理想的ニ出來テ居リマス、結構デアリマスガ、併シ世ノ中ノ事ハ——社會經濟ノ事ハ中々複雑致シテ、理想的ニ行カナイト思フノデアリマス、デ權利者ガ正シキ途ニ於テ權利ヲ行使致シテ居ルカト云ヘバ、中々サウデナイヤウデアリマシテ、色々ノ方法ヲ以テ債權者ヲ壓迫シテ居ルヤウナ現狀デアリマス、勿論權利者ノ爲ニ債權者ガ壓迫ヲ受ケルト云フコトハ當然デアリマスガ、假ニ一例ヲ舉ゲマスレバ、債務者中ニ隨分ニ商業的、或ハ國家的ノ爲ニ義務者トナツテ、能力ヲ發揮シテ居ル者ガ隨分澤山アル、此者等ハ自分ノ計畫ガ放漫デナクシテ、社會一般ノ出來事ノ爲ニ豫期セザル失敗ヲスルコトモアリマセウシ、又其當時ニ於テ、爲政黨ノ政策ノ爲ニ思ハザル失敗ヲスルコトガアル現狀デアリマス、是等ノ事ハ即チ不可抗力ト申シマスモノカラシテ支拂能力アル者デモ、大ニ信用アル者デモ、一時支拂ニ差支ヲ來ス者ガアルノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テ債權者ガ四圍ノ狀況ヲ考ヘズ當人ノ事情モ參照セズ、暫ク猶豫ヲスレバ直ニ回收ガ出來ルト云フ事情デアリマスモ拘ラズ、單ニ支拂不能ノ故ヲ以テ、本案ヲ利用スルコトガアリヘンナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、是ハ昨日渡邊君カラ御質問ニナツタ如ク、訴訟ガ増加シハンナイカ、即チ一面カラ言ヘバ濫訟ニ陥ルデハナカラウカ、斯ウ云フ疑ヲ本員ハ持ツテ居ルノデアリマス、此邊ニ付テ當局ノ御説明ヲ尙ホ一應伺ヒタイ、第二ニ小破產法ニ依リマシテモ、費用ト時間トヲ甚ダ節約スル爲ニ組立テアルノデアリマス是亦餘リ

簡明ノ手續デ出来ルノデアルカラ、總テ裁判所ノ推定ニ依ッテ出来ルノデアリマス。是亦訴訟ノ増加ヲ來シハシナイカト思フノデアリマス。第三ハ現行法ニ依リマス。地方裁判所デ扱フテ居ルヤウデアリマスガ、本案ハ總テ之ヲ區裁判所ニ移スコトニナツテ居リマス。區裁判所ニ移スコト云フコトハ至極結構デアリマスガ、此事ハ先般ノ當局ノ説明ヲ聽キマス。餘程熟練家ヲシテ扱ハシメルト云フ御話デアリマス。其熟練家ハ如何ナル方法ニ依テ御選定ニナル、或ハ其裁判長ハドノ程度ノ御方ヲ以テ、御充テニナル御積リデアアルカト云フコトモ御尋シタイノデアリマス。

○山内政府委員 此破産ハ結局御話ノヤウニ、必シモ債務者ノ怠慢ノミニ依ッテ生ズルモノデナイ。不可抗力ト云フヤウナ問題モ起ルコト考ヘマス。殆ド不可抗力ト云フテモ宜イヤウナ、例バ恐慌時代ノ破産ノ如キニ至テハ、殆ドソレガ多イダラウト思フ。併ナガラ既ニ一度ハ債務者ガ破産ヲスルト云フヤウナ時ニ、債權者ニハ矢張出来ルダケ權利ノ満足ヲ與ヘナイト、一人ノ破産ノ結果又其結果ガ、他ニ破産ヲ及ボスコト云フコトニナルコトモ考ヘナクテハナラヌ。ソレデ一人ノ者ガ破産ヲスレバ、其損害ハ其人ノミニ先ヅ止メテソレガ他ノ債權者ニ波及シテ、更ニ其債權者ガ又破産スルト云フヤウナコトニ及ボサナイヤウニスルコトガ破産法ノ根本ノ趣旨ニナツテ居ルノデアリマス。故ニ一ツソレ破産ガ生ジタナラバ、總債權者ノ損害ハ極メテ之ヲ輕減シテ、即チ損害ヲ分配シテ、社會全體ニ及ス所ノ損害ノ程度ノ薄イモノニシテ、丁度保險ト云フヤウナ意味ニ於テ、一人ノ損害ヲ多クノ保險契約者ノ間ニ分配シテ、損害ヲ薄クスルト云フノガ破産法ノ一ツノ趣旨ニナツテ居リマス。サウ云フ次第デアリマスカラ、破産ノ場合ニ於テハ權利者ニハ其權利ヲ出来ルダケ満足セシメルト云フコトガ、ドウシテモ必ズ要ニナルノデアリマス。然ルニ其結果ト致シマシテ、破産者ハ破産者一人ダケガ非常ナ不幸ナ目ニ陥イルノデアリマス。ルガ爲ニ、外國等ニ於キマシテハ、破産ノ場合ニ備フル保險制度モアル、行々日本ニ於テモ此保險制度ト云フモノガ段々發達シテ、破産保險ト云フヤウナ事モ出来ナケレバナラヌコトダラウト思フ。サウシテ以テ偶然ニ殆ド豫期セザル状態カラ起リタ破産等ニ付テ、自ラ救済スルノ途ガナケレバナラヌカラ、相當ニ保險制度ト云フヤウナモノニ依ッテ補フ必要ガアラウト思フ。併ナガラ我國デハ破産保險ト云フモノハ發達シテ居ナイヤウデアアル。此債權者ノ破産ノ結果他ノ者ガ破産ヲスルヤウニナルカラ、ドウシテモ債權者ガ出来ルダケノ辨償ヲシナケレバナラヌノハ、已ムヲ得ヌト思ヒマス。併ナガラ事情ニ依ッテハ破産ヲサセルノガ、非常ニ可哀想ナ事情ガアル者ガアルカラ、茲ニ和議法案ヲ作タ

次第デアリマシテ又破産者ノ破産ニ陥ラタ事情等ニ依ッテハ一般債權者カラ見レバ相當同情ノアル場合ガアラウト思フ。其場合ニ破産者ガ和議法ニ依ッテ破産宣告前ニ其破産ノ宣告ヲ止メテ、サウシテ茲ニ和議ヲ求メル、和議ノ結果事情ニ依リ同情スベキ債權者デアレバ、債權者集會ニ於テ多數ノ決議ニ依ッテ、此和議ヲ成立タシムルト云フコトガ成立スル機會ガ多カラウト思フ。併ナガラ和議モ出来ナイ、債權者ノ同情モ無イ、而シテ遂ニ破産ニ陥ルト云フコトニナレバ、ドウシテモ債務者ハ損失ヲ負擔スル譯デアリマシテ、債權者全體ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトハ已ムヲ得ヌ事考ヘテ居リマス。ソレカラ此小破産ノ手續デアリマスガ、小破産ノ手續デアレバ、破産宣告ノ條件等ニ付テハ、全ク通常ノ破産ト違ハナイノデアリマス。唯タ債權者集會ヲ開ク場合ヲ少ナク致シテ居ルノデアリマス。是ハ債權者ノ少ナイノ債權者集會ヲ開クコト云フノハ、費用倒レニモナルシ、又管財人ヲ置クコト云フコトモ無用ノ手續ニナルダラウト思フ。又配當ヲ度々重ネルト云フコトモ、小數債權者ノコトデアアルカラ、是モ其煩ニ堪ヘナイ。故ニ配當ハ一回デ終ルト云フコトニシテ、サウシテ手續ハ濟ムト云フノデアリマシテ、通常ノ破産ナラバ、必要デアアル所ノ手續モ、煩瑣ナル手續ハ小破産ニ於テ省略致シテ居リマスケレドモ、結局ハ破産ノ決定ヲスル、或ハ配當ヲスル、或ハ債權調査ヲスルカ云フヤウナ、實體上必要ナ事柄ニ至リマシテハ、通常ノ手續ト違ハナイノデアリマス。唯タ債權者集會ヲ普通ノ破産手續ノヤウニ、度々開カナイト云フヤウナコトニナルノデアリマス。サウ云フ次第デアリマスカラ、此小破産ノ規定ガ出来タガ爲ニ、俄ニ破産ヲ餘計ニ申請スルト云フコトモ私ハ起ルマイト思テ居ル、或ハ今日ニ於テモ度々申ス通り、債權者中ニハ或ハ隨分脅迫ノ爲ニ破産ヲ申請スル者ガアル、或ハ脅迫ノ爲ニ家資分散ノ申請ヲスル者ガアル、今後ト雖モ之ヲ絶無ニスルコトハ困難デアアラウト思フ。併ナガラ此法案ガ出来タガ爲ニ件數ガ縮エルトハ考ヘラレナイ、而シテ和議ノ手續利用ノ爲ニ債務者ニ取テハ極メテ都合ノ結果ヲ生ズルコトガアラウト思フノデアリマス。ソレカラ區裁判所ニ於テ破産手續ヲ取扱フニ付テノ判事ノ選定ノ問題デアリマス。是ハ今破産手續ニ能ク慣レタ人間ガ居ルト云フ譯デアリマシテ、置ケバ、ソレガ破産事件ヲ専門トシテ扱フ事ニ依ッテ段々習熟シテ、良イ判事ニナルコト、考ルノデアリマス。サウ云フ次第デアリマスカラ、是ハ先ヅ實施スル前ニ相當ニ研究サシテ、裁判所長ニ於テモ相當ノ人ヲ選ンデ、サウシテ其人ヲ専門ニ當テ、事件ヲ取扱ハシムルニ依ッテ、其人ガ破

産事件ニ習熟スルト云フ結果、適當ナ判事ヲ得ル途ヲ講ジタイト思フ。ソレニハ區裁判所ノ破産判事ト云フモノニハ、相當力ノアル人ヲ之ニ充テルト云フ計畫デ居ルノデス。○福井委員 只今ノ御説明デ能ク諒解致シマシタガ、併シ其裁判官ノ選定ノコトニ付テハ、地方裁判所ニ居ラタ判事ヲ區裁判所ニ廻ス御考デスカ、又ハ區裁判所ノ判事ノ優秀ノ御方ヲ御選定ニナル御考デアリマスルカ、實ハ過日モ彼ノ刑事訴訟ノ方デ、區裁判所ノ手續ノ區域ニ付テ大分議論ガアツタヤウデアリマス五百圓ノ程度ニスルカ或ハ一千圓迄ニ擴張スルトカ云フコトデ、辯護士仲間デハ中々御議論ガアツタヤウデアリマス。區裁判所ヲ斯ク迄擴張スル必要ガナイト云フ御議論ガアツタヤウデスカ。餘程法曹間デモ區裁判所ヲ輕ク視テイヤウシヤルヤウナ感モアルヤウデスカ。重ネテ御尋ネ致シタイト思フノデス。

○山内政府委員 現在デモ大キナ區裁判ニナリマス。餘程進ンダ判事ガ居ル、ケレドモ小サナ區裁判所ニナリマス。區裁判所判事デハ、或ハ事件ノ取扱如何ト云フヤウナ疑ヲ招ク。此現在ノ状態ニ於テモ、區裁判所ノ判事ヲ段々慣レタ者ヲ置キタイト云フコトニ考ヘテ居リマスガ、今日ノ状態デ斯ウ云フ風ニ陥ラタノハ、例ノ景氣ノ好イ時代ニ相當ノ判事ガ皆實業界ニ飛ンデ行ッテシマウ、或ハ辯護士ニナレシマウト云フ關係ト同時ニ、區裁判所ノ數ガ餘程増設ヲシマシタガ爲ニ、一時變調ヲ來シテ居リマス。段々之ガ又判事ヲ置クコト云フコトニナレバ、今日ノヤウデモアリマス。今日ニ於キマシテモ、地方裁判所ノ陪席ヨリハ良イノヲ置ク方針ニナツテ居リマス。地方裁判所ノ陪席ノ新シイノヤ、豫備判事ヲ充テ居ル所ガアリマセウガ、僅ニ判決ガ書ケルカ書ケヌト云フ位ノモノデアリマス。判事ノ待遇其他ニ依ッテ判事ガ足ヲ留メテ段々向上シタイト思フテ居リマスガ、此區裁判所ノ現在ハ、段々特殊ノ事件ガ這入テ行クノデ、例ヘバ此間業議院デ協賛ヲ得タ借地借家調停法案、此借地借家ノ調停ニ當ル人モ、餘程良イ判事ヲ持ッテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス。此破産ノ判事ニ付テモ老練ナ判事ヲ持ッテ行カナケレバナラヌ。區裁判所ニ老練ナ判事ガ有レバ宜シイガ、無イ所ハ地方裁判所中ノ老練ナ人ヲ持ッテ行カナケレバナラヌ。或ハ控訴院ノ陪席判事ヲ持ッテ行ク、今日ハ區裁判所ノ判事デモ、地方裁判所ノ判事デモ同ジ所ヘ行クノデアリマス。サウ云フ次第デアリマスカラ、之ガ餘程習熟シタ判事ヲ造ラナケレバナラヌ。諸般ノ事ニ必要ニナル、尙ホ更ニ司法省デ計畫致シテ居リマスノハ、家庭審判所ガ出来マス。是ハ餘程老練ナ人ヲ持ッテ行カナケレバナラヌ。少年裁判、是モ判事ヲ以テ充ル外仕方ガナイ。斯ウ云フモノニ付テモ習熟シタ判事ヲ持ッテ行カナケレバナラヌ。老練ナ

ル判事デ、専門ニ其仕事ニ當ル人ヲ養成スルコトガ極メテ必要ニナリテ居リマス、破産ニ付キマシテモサウ云フ次第デアリマスカラ、或ハ區裁判所ニ居ル人、或ハ地方裁判所、或ハ控訴院カラ、専門ノ破産事務ノ出來ル判事ヲ附ケルコトハ極メテ必要デアリマス、サウ云フ方針デ此判事ノ選定ノ事ヲ極メヤウト云フコトハ、此案ヲ會議ニ付スル時ニ之ヲ前提トシテ協議ラシテ居ル次第デゴザイマス

○福井委員 説明デ分リマシタガ、其人ヲ十分御選定アラシコトヲ希望シテ此點ハ止メマス、次ニ御尋シタイノハ、本案ノ施行期日ハ何時頃カラ御實施ニナルノデアリマセウカハ私ハ持ッテ居リマスケレドモ、更ニ之ガ法律ガナリマシテ、一年位ハ研究ノ爲ニ實施セザルモ亦一ツノ方法デアリマス、然ルニ又民間ノ方カラモ今ノ破産法デハ働ケヌカラ、成ベク早ク實施シテ呉レト云フ意見ガアリマス、其等ノ事情ヲ考ヘマシテ、適當ニ之ヲ研究スル時期ヲ置キ、準備ノ出來ル時期ヲ置キ、而シテ又之ヲ急速ニ此法律ノ働キヲ現ス民間ノ要望ニ從ヒタイト思ヒマスガ、約ソ一年位ハ或ハ猶豫シナケレバナラス、併ナガラ其際ニ於テ民間ノ要求ガ早クヤレト云フコトデアレバ、又ソレニ付テ考慮シナケレバナラス、ドウゾ其點ハサウ云フ意味ニ御了承ヲ願ヒタイ

○福井委員 大體ノ御質問ハ前回以來繼續シテ、今日デ終了ノヤウニ思ヒマスカラ、成ベク御運ビヲ願ヒマシテ、逐條審議ニ御移リヲ願ヒタイ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○米田委員長 サウスルト先ヅ大體ノ質問ハ此程度ニ止メマシテ是カラ逐條ノ質問ニ移リマス

○渡邊委員 其前ニ前會伺ツテ置キマシタ、管財員ガ公務員ナリヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、其點ニ付テ御意見ヲ承リタイ

○岩村政府委員 破産管財人ガ公務員ナリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、多少議論ノ存スル點デアリマス、デ公務員ト申シマスノハ刑法第七條ニ規定ガゴザイマシテ、其規定スル所ニ依リマス、第七條ニハ「本法ニ於テ公務員ト稱スルハ官吏公吏法令ニ依リ公務ニ從事スル議員委員其他ノ職員ヲ謂フ」斯ウ云フコトニ規定ガナッテ居ルノデアリマス、故ニ破産管財人ガ公務員ナリヤ否ヤト云フコトハ、此七條ノ規定ニ該當スルカ否ヤト云フコトニ依ッテ決セラル、モノデアリマス、而シテ此破産管財人ノ職務ノ性質如何ト云フコトニ付テ更ニ考察シテ見マス、是ガ公務ト云ヘルカドウカト云フコトガ問題ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ此破産管財人ノ職務等ハ、本案ニ規定致シテアル大體ノ性質ヨリ考ヘテ見マシテ、直ニ公務ニ從事スル者ト云フ

コトヲ斷言スルニハ、少シク缺クル所ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、破産管財人ノ公務員ナリヤ否ヤト云フコトニ付テハ、多少議論ハアリマスガ、大體本案ノ規定致シテアリマス破産管財人ノ職務ト云フモノハ、大體ニ於テ公務デハナイト見ルノガ正シイヤウニ考ヘルノデアリマス、議論モ多少アルノデアリマシテ、見方ニ依テハ刑法第七條ノ所謂「公務ニ餘程類似シタモノ」デアルト云フ論モ出來ルトハ思ヒマスガ、何方ノ性質ガ多イカト申スト、七條ノ所謂公務ト云フモノニハ、直ニ當ラナイト觀察スル方ガ正シイト考ヘテ居リマスノデ、破産管財人ハ刑法ノ公務員トハ認め難イヤウニ考ヘテ居リマス、唯タ細カク論ジマス、性質ハ見方ニ依リマシテ、餘程公務ニ類似シタ點ハアリマスカラ、議論ハアルト考ヘマスガ、大體此規則ノ規定ヲ作リマス際ニハ、公務員ニ非ズト云フ觀察ノ下ニ此規則規定ガ作ラレテアルノデゴザイマス、左様御承知置テ願ヒマス

○渡邊委員 只今ノ管財人カ公務員ニ非ズト云フ點ニ付テノ基礎ハ、刑法第七條ニ依テ公務員ト看做サナイト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、本案ニ依リマシテ、破産管財人ハ裁判所ニ於テ之ヲ任命シ、裁判所ガ之ヲ監督シ、而シテ破産管財人ノ報酬ナルモノハ、矢張り裁判所ニ於テ決定セラレル、總テ裁判所ノ選任監督決定等ニ依ッテ、破産管財人ナルモノガ此破産事務ヲ處理シテ行クト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、刑法ノ第七條ノ御解釋ニ依ッテ左様ニ御解釋ニナッテデアリマセウガ、併シテ解釋ノ上カラハ、公務員トシテ矢張公務ヲ行フ者デアルト云フ風ニ解釋スルノガ相當デナイカト思ヒマスガ、刑法ノ七條ノ規定以外ニ何カ純理論トシテノ根據ガ無イノデスカ

○山内政府委員 只今岩村君ノ言ハレタ通り、公務員ノ關係ハ餘程困難ナ問題デアラウト思フ、ソレデ破産法學者ガ破産管財人ノ地位ヲ見ルニ付テ、學說ハ紛々トシテ歸スル所ヲ知ラナイノデ、獨逸アタリニ於キマシテモ、或ハ此破産管財人ハ信託デアルト云フ說ヲ執ッテ居ル人モアル、總依權者ノ代理人ト云フ風ニ說ヲ採ッテ居ル人モアル、或ハ職務行爲ト云フ說ヲ採ッテ居ル人モアリマス、色々岐レテ居リマスガ、併ナガラ裁判所ガ之ヲ選任スルト云フ者ニ付テ、明ニ公務員デナイ者ハアルノデアリマス、例ヘバ會社ノ清算人、此清算人ハ裁判所ガ之ヲ選任シテ、而シテ清算事務ハ裁判所ノ監督ニ屬スル

○山内政府委員 或ハ公務ト云ヒマシテモ、例ヘバ何方公務デアアルカト云フコトヲ考ヘルト、非常ニムヅカシイ問題デアリマス、辯護士ノ職務ト云フヤウナ事モ、一方カラ見レバ公務ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ公務トハ見ナイ、辯

護士殊ニ刑事ノ辯護ハ公務ノヤウニ考ヘラレマスケレドモサウモ見テ居ナイ、或ハ官選辯護ヲ付ケタリシマスケレドモサウハ見ナイ、要スルニ公務員ノ性質ニ至ッテハ、餘程困難ナ問題デアラウト思ヒマス、併ナガラ此處ニ在ル破産法案ノ濫職ノ問題ニ至レバ、是ハ兎ニ角其問題ト別ニシテ此所ニ設ケテアルカラ、ソレハ濫職ガラレルヤウデス、刑ヲ異ニシテ居ルカラ、公務員ト云フモノハ公務員ト云ハナクテモ宜イヤウデス、公務員ナリヤ否ヤト云フコトヲ決メルニ付テハ、例ヘバ文書偽造ニ付テモ、管財人ノ作ッテ文書ハ公文書偽造ト見ルカ、或ハ私文書偽造ト見ルカニ付テハ、吾々起革委員ニ於テモ、公務員ナリヤ否ヤニ付テハ二派ニ分レテ居ル、加藤君ハ「アムツテオリ」即チ職務行爲ダト云フ說ヲ主張シ、私ハ信託ニシテ總債權者ノ爲ニ財産ノ管理ヲスル者デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此性質ニ至ッテハ、餘程其解釋上困難ナ性質ト考ヘテ居リマス、其結果刑ヲ同様ニスベキモノデモナイ、非常ニ財産上ノ關係カラ影響ガ大キイカラ、刑法ノ刑ヲ財産刑ニ於テ區別ヲ置イテ居ルソレハ吾々ノ起革委員間デモ甚ダ卑怯ナ話デスガ、要スルニ斯ウ云フ風ニナッテ居レバ、公務員デ有ルト無シガ別ニシテ、破産法關係ダケハ亂暴ナコトヲ言フヤウデスガ、誤麻化シテ通リヤシナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、起草委員間ニ於テハ刑事局ノ參事官諸君ニ聽クト、公務員デナイト云フノデ、公務員デナイト云フ解釋ヲ採ッテデアリマス、是ハ刑法解釋上色々ノ問題ニ及バウト思ヒマス、尙ホ其性質論ニ付テハ、岩村君カラモウ少シ説明スルグラウト考ヘテ居リマス

○岩村政府委員 先程申上ゲマシタ通り公務員、ソレカラ公務トハ何ゾヤト云フコトハ非常ニ議論ノアル問題デアリマシテ、先程御質問ノヤウニ、選任ト云フ形式ガアルカラ公務員デハナイト云フ御質問モアッタヤウデスガ、併ナガラ選任ト云フ方法ダケデハ、直ニ選任ヲセラレタ者ガ公務員デアルト云フコトニハ參ラヌ場合モアリヤセヌカト考ヘテ居リマス、刑事重大事件ノ官選辯護ノ如キモノモアリマス、直ニ選任ト云フ形式ガアルカラ、是ハ公務員デアルト云フ風ニ直ニ論斷スルノモ如何カト考ヘテ居リマス、要スルニ公務員デアアルカドウカト云フコトハ、單ニ選任ト云フヤウナ手續ニ依リ、其性質ヲ定メルト云フコトモ如何カト考ヘルノデアリマス、結局其者ノ取扱ヒマス仕事ガ、公務ト云ハレルカドウカト云フコトヲ決シナケレバナラスノデアリマス、尙ホ其公務ト云フノハドウ云フモノデアアルカト云フ問題ニナッテ參リマス、本案ノ破産管財人ノ取扱ヒマス仕事其物ノ性質カラ、公務ト云ヘルカドウカト云フコトニナッテ參リマス、直ニ公務デアルト云フコトニハ餘

程議論ガアルト思フデアリマス、先程山内政府委員ヨリ御答申上ゲマシタ通り、實ハ立案ノ際ニモ、御質問ノヤウナ點ニ付テモ非常ニ議論ガゴザイマシタガ、取扱フ職務ソレ自體ガ公務ト見ルノハ如何デアラウカ、公務員デアルカ、公務員デナイカ、所謂公務デアル公務デナイカト云フ點ニ付イテ、孰レヲ正シイトスルカト云フ點ニナリマスルト、ドウモ公務デハナイト云フ風ニ見ルノガ正シイノデアラウ、勿論議論ハ非常ニゴザイマシタガ、大體此取扱ノ性質、仕事其物ノ性質カラ申シマシテ、是ハ公務ト云フ性質ハ帯ビテ居ナイモノデアルト云フ風ニ断定スルノガ正シカラウト思フ、サウ云フヤウナ多少議論ハアリマシタガ、性質カラ見レバ、公務デハナイト断ズル方ガ正シイノデアラウト云フコトデ、實ハ此刑ノ點等ヲ斟酌致シマシテ、之ヲ公務員ト云フコトニナツテモ、刑ヲ斯様ニシテ置ケバ其議論モ避ケ得ラレヤウト云フコトデ、斯ウ云フ規定ヲ致シタ譯デアリマス

○前田委員長 モウ十二時前デスカラ、今日ハ此程度ニ止メマシテ、次會カラ愈々逐條審議ニ入ルコトニ致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス

午前十一時四十三分散會